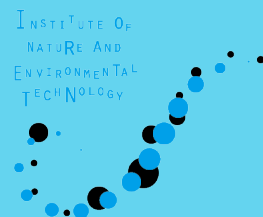




環日本海域環境研究センター 学生オンライン研究発表会



日時：3月10日・17日・19日 各17時～

場所：オンライン

金沢大学環日本海域環境研究センターでは、所属教員が兼担する学類の学生指導も行っています。本研究発表会では、センター所属の教員が指導する学生の成果報告を行います。オンライン発表会となりますので、参加自由となっております。（要申込）

プログラム 第1日目

3月10日（水）17:00 – 18:10

- 17:00-17:05 開会挨拶（環日本海域環境研究センター センター長 長尾誠也）
- 17:05-17:10 概要解説（環日本海域環境研究センター 教授 福土圭介）
- 17:10-17:30 Rodrigo Mundo（自然科学研究科物質化学専攻 M1）
「Surface oceanographical currents at Japan Sea and Okhotsk Sea from 2017 to 2020 and their influence on PAHs surface dynamics」
- 17:30-17:50 久保田誠史（自然科学研究科自然システム学専攻 M1）
「能登半島における新粒子生成イベントの長期トレンド」
- 17:50-18:10 工藤秀平（自然科学研究科自然システム学専攻 M1）
「水田地帯におけるカエル類の生息数と食性に及ぼす農法、草刈りおよび排水路構造の影響」

第2日目

3月17日（水）17:00 – 18:05

- 17:00-17:05 概要解説（環日本海域環境研究センター 教授 福土圭介）
- 17:05-17:25 河合海（自然科学研究科自然システム学専攻 M1）
「マイクロプラスチックから溶出したスチレンオリゴマーの魚類の骨代謝かく乱作用」
- 17:25-17:45 金井遼河（理工学域自然システム学類 B4）
「ES-SERS法による個別鉱物粒子および表面に吸着したPAH類の高感度検出」
- 17:45-18:05 Shuukhaaz Ganbat（自然科学研究科自然システム学専攻 M1）
「Lacustrine Sediment Analyses to Understand the Past Environmental Changes and the Effect of Ongoing Global Warming in Valley of the Gobi Lakes, Mongolia.」

第3日目

3月19日（金）17:00 – 18:10

- 17:00-17:05 概要解説（環日本海域環境研究センター 教授 福土圭介）
- 17:05-17:25 加藤綜一郎（自然科学研究科自然システム学専攻 M1）
「粒子サイズ拡大器を用いた気相微粒子の液中捕捉」
- 17:25-17:45 川村龍矢（理工学域自然システム学類 B4）
「能登半島九十九湾に生息するアカテガニの生理生態学的研究」
- 17:45-18:05 田中さき（理工学類物質化学類 B4）
「西部北太平洋および北極海における多環芳香族炭化水素類の水平分布」
- 18:05-18:10 閉会挨拶（環日本海域環境研究センター センター長 長尾誠也）

参加希望の方は下記までお問合せください。

問合せ先：環日本海域環境研究センター 福土圭介 fukushi@staff.kanazawa-u.ac.jp